小牧・長久手の戦い

小牧・長久手の戦いは、1584年（天正12年）に織田信雄・徳川家康連合軍と羽柴（豊臣）秀吉との間で行われた織田信長の後継者争いです。この頃、全国各地では戦国武将が秀吉方と家康方に分かれ勢力争いが起きていました。小牧・長久手の戦いはいわばその総大将戦ともいえます。

秀吉は、信雄の領地であった尾張国の犬山城を占領。それに対抗して家康は信長が築城した小牧山城に陣を置きました。家康は小牧山入城に先立ち、徳川四天王の一人、榊原康政に命じ、小牧山を土塁や堀、虎口などの防御設備を備えた陣城へ改修させました。驚くことに、康政はわずか5日間のうちにこの大改修を終えたといわれています。

小牧山付近では両者の小競り合いで終始し、同年4月に起きた長久手での戦闘では家康軍が優勢となりましたが、最終的には秀吉と信雄の和睦により、小牧・長久手の戦いは収束を迎えました。

この戦いは家康と秀吉が直接対決した唯一の戦いであり、この戦いを足掛かりとして、家康は天下統一を成し遂げます。このことから、小牧・長久手の戦いは真の天下分け目の戦いともいわれています。

神君家康公御勝利御開運之御陣跡

小牧・長久手の戦いを経て、戦乱の世を収め、天下統一を成し遂げた家康にとって、小牧山は「勝利に導いた開運の地」といえます。

江戸時代に入ると、小牧山は一般の入山が禁止されるなど尾張徳川家により大切に保護されました。そのため保存状態が非常に良好で、現在でも当時の堀や土塁が多く残されています。

❶小牧山歴史館

歴史展示施設。4階の展望室からは岐阜城をはじめ濃尾平野を一望できる。

入 場 料 ／ 大人200円（高校生以下無料）
開館時間 ／ AM9:00～PM4:30（入場はPM4:15まで）
休 館 日 ／ 第3木曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始

❷れきしるこまき（小牧山城史跡情報館）

小牧山の歴史や文化、自然などを模型や映像を使って伝えるガイダンス施設。

入 場 料 ／ 大人200円（高校生以下無料）
開館時間 ／ AM9:00～PM5:00（入場はPM4:30まで）
休 館 日 ／ 第3木曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始

※小牧山歴史館及びれきしるこまきの入場券は共通です。

一般社団法人 小牧市観光協会 小牧駅前観光案内所
〒485-0029 愛知県小牧市中央一丁目260　TEL 0568-39-6123
営業時間／AM9:00～PM5:15（木曜日定休）
https://komaki-kanko.jp

令和5年3月発行

空堀跡

家康は秀吉軍からの侵入を防ぐため、小牧山の周囲に二重の堀を巡らせました。
中腹の空堀は山頂（本丸）を守るように作られています。

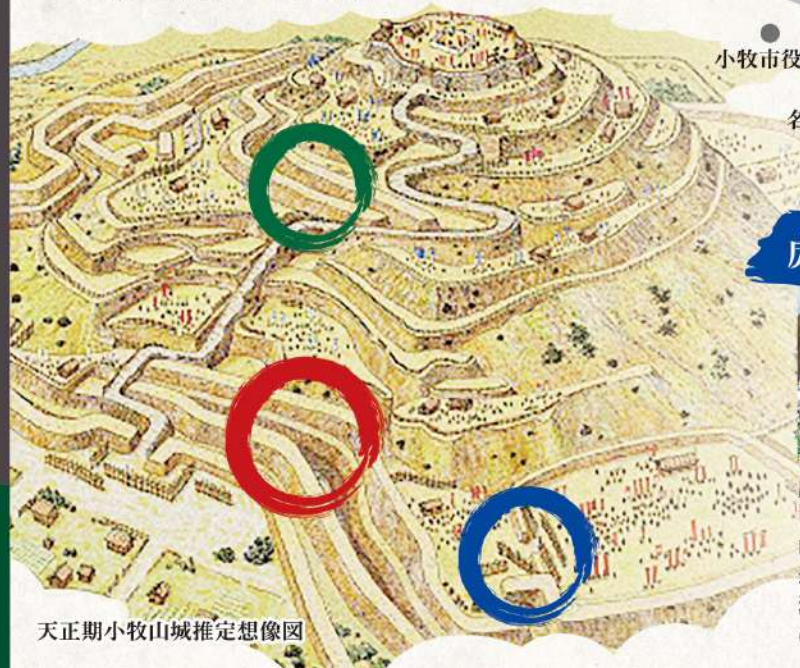
復元土塁

土塁は、敵からの侵入を防ぐため、土を盛りあげて築いた堤防です。家康は土塁を、小牧山の周囲に二重に巡らせました。山麓南側の土塁は高さ8mもあり、復元されている土塁としては日本最大級、当時の緊張感をうかがわせます。

家康の天下を取る
大坂にあらずして関ケ原にあり
関ケ原にあらずして小牧にあり

頼山陽『日本外史』を一部改変

※山中では史跡整備に伴う発掘調査や工事を実施しているため、一部園路の迂回、通行止めがあります。



天正期小牧山城推定想像図

虎口

虎口は城の出入り口です。中でもこの虎口は「枡形（ますがた）虎口」といい、家康の改修により築かれたものです。枡形の空間は深く掘り込まれ、敵の侵入を非常に困難なものにしていました。

土塁断面展示施設

家康の改修により築かれた土塁の断面を展示しています。山麓をめぐる土塁は、外側の堀を掘った土でできているため、地層が逆転している様子や短期間のうちに作られたことがわかります。